



図書館だより

七尾中学校図書館

令和8年 5月号



第72回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書を紹介

2026・第68回「こどもの読書週間」が始まりました。

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。本を読む楽しさを知っていることは、とても大切なことです。たくさんの書物に親しみ、豊かな心を育ててください。



ことばがきみの はねになる

2026・第68回 こどもの読書週間 4/23~5/12

今月のおすすめ新着本



「3分間サバイバル NEO 時代を統べる者」

粟生 こずえ／著（あかね書房）

謎解きとスリルが楽しめる「サバイバル×ミステリー」に「勉強にもなる」テーマが加わった“進化形”シリーズの第3弾。テーマは「歴史」。日本のみならず、欧米やアジアの古代から中世、近代まで様々な時代を舞台に謎が展開！解説では人に話したくなる歴史蘊蓄が満載。読めば中毒になること必死のハイパー・ショート・ストーリー！



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 吉凶通り5」

廣嶋 玲子／著（偕成社）

吉凶通りにお店がふえて、商店街は、ますます活況を呈してきたが、一方でなにやら怪しげな計画をたてているものがある。この人物は、紅子に呪詛をかけて眠らせた犯人と同一人物のようだ。いったい、そのねらいは、何なのか。銭天堂にとって、ある意味、最悪のお客様があらわれる！絶好調のシリーズ5弾！

「君の火がゆらめいている」 落合 由佳／著



小学六年生の葉澄は、発達障害のある双子の姉・菜々実の通院や学校送迎を日常的に手伝っている。菜々実にも、両親にも笑ってほしい気持ちは確かにある。けれど、友だちと遊びたい時も、菜々実の都合が最優先になる。何かを諦めるたび、仕方ないと思う反面、胸の奥にモヤモヤがたまっていく。きょうだから愛している。愛しているから、見捨てられない。きょうだけ我が子を抱える葛藤をまっすぐ描き切った、渾身の力作！

「チーム・テストならだいじょうぶ」

カービー・ラーソン&クイン・クワイアット／著 杉田 七重／訳



中2で転校してきたテストは、友だち作りが少し苦手。得意の手作りお菓子を分けて親しくなる作戦で友だちを作ることに成功する。ハイレベルな焼き菓子作りコンテストに出場するテストを応援する「チーム・テスト」が結成され盛り上がるが、テスト自身はひんぱんに襲ってくる腹部の激痛に耐えられなくなってきていた。

「リュウグウの砂に挑む：チームで小惑星のサンプルを分析」 伊藤 元雄／著



生命のもとになる水や有機物は、どこから、どうやって地球に運ばれてきたのだろうか？小惑星探査機「はやぶさ2」が、小惑星リュウグウから砂を持って地球に帰ってきました。水や有機物は小惑星や彗星が地球に運んできたという、仮説のひとつを解く大チャンスです。

「ぜったいに結果を出してみせる！」

いろいろな大学や研究所から、さまざまな分野の研究者が集まって、貴重な砂の分析がはじまりました。そして最強チームが見つけたのは、“生命のゆりかご”だったのです。

引用：版元ドットコム



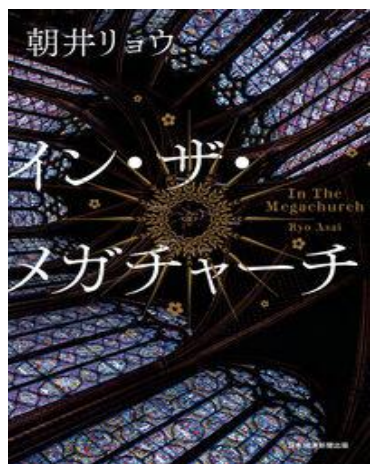
2026年の本屋大賞が発表されました!



大賞「イン・ザ・メガチャーチ」

朝井 リョウ/著

日経 BP 日本経済新聞社



沈みゆく列島で、“界限”は沸騰するー。
あるアイドルグループの運営に参加することになった、家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒したい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側—世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。

～図書室に入っている本～

大賞『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井 リョウ/著
5位『暁星』 湊 かなえ/著
7位『ありか』 瀬尾 まいこ/著
8位『探偵小石は恋しない』 森 バジル/著
10位『さよならジャバウォック』 伊坂 幸太郎/著
図書室にまだ入っていないノミネート作品もありますが、
随時購入していく予定です。

2位「熟柿」

佐藤 正午/著
KADOKAWA



3位「PRIZE—プライズ—」

村山 由佳/著
KADOKAWA



4位「エピクロスの処方箋」

夏川 草介/著
水鈴社



5位「暁星」

湊 かなえ/著
双葉社



貸し出し中の本は予約も
できます。
リクエストカードをお渡し
しますので
記入してください。



6位「殺し屋の営業術」

野宮 有/著
講談社



7位「ありか」

瀬尾 まいこ/著
講談社



8位「探偵小石は恋しない」

森 バジル/著
小学館



9位「失われた貌」

櫻田 智也/著
新潮社



10位「さよならジャバウォック」

伊坂 幸太郎/著
双葉社

